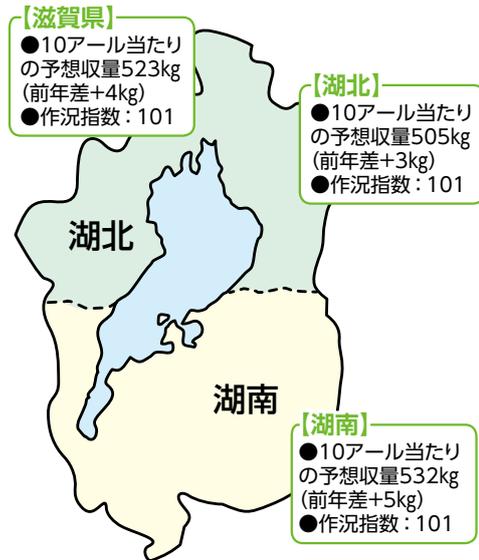


滋賀県の作況指数

令和4年産水稲の予想収量と作況指数(9月25日現在)が公表されました。滋賀県の予想収量は10aあたり523kg(前年産に比べ4kg増加)で、作況指数は101となり「**平年並み**」となる見込みです。

滋賀県の作況指数

(9月25日現在)



近年の湖北地域の作況指数

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
102	97	100	104	100	99	98	98	100

全国の作況指数は100で「平年並み」

天候に恵まれた北海道と西日本で生育が順調だった。一方、東北や九州で台風や日照不足の影響を受けた。

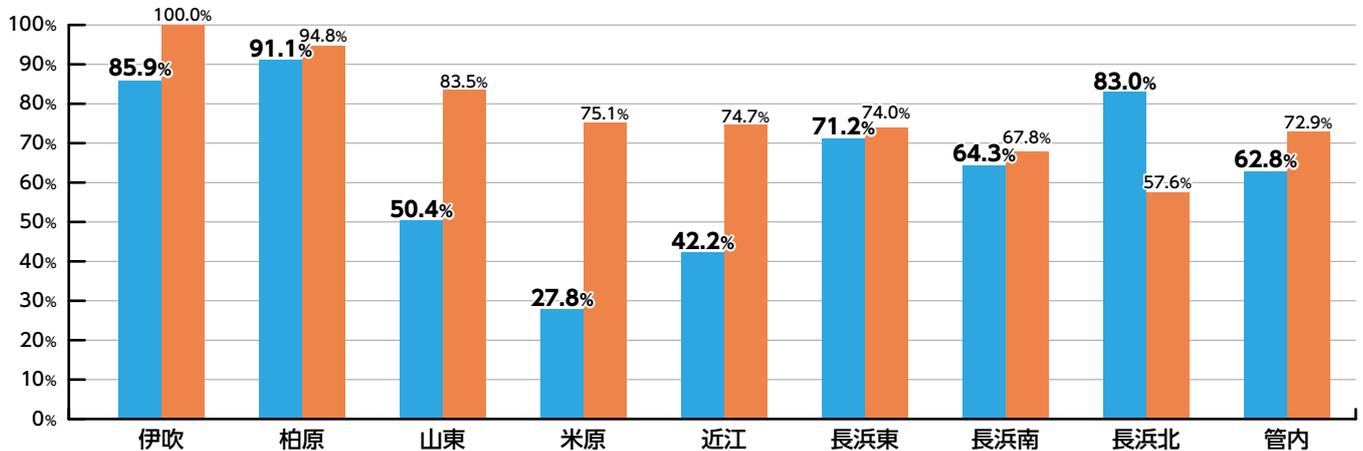
作柄概要

- 穂数は、田植期以降5月中旬の日照不足や6月中下旬の高温により分けつりの切上がりが早まったこと等により、湖南では「やや少ない」となったものの、湖北で「平年並み」となったことから、滋賀県では「平年並み」となった。
- 出穂期以降の8月中下旬が日照不足で経過したものの、7月下旬～8月上旬が高温・多照であったこと、9月以降の気温が平年を上回って推移したことから、湖南、湖北ともに「平年並み」が見込まれる。

米検査状況(地場集荷分 9月29日現在)

地域別コシヒカリ1等比率

■令和4年 ■令和3年



2等以下の格付と主な要因(上位)

格付種類	種類解説	要因
他未熟粒 整粒不足	充実の不十分な粒で、玄米の厚みが薄く、縦溝が深い。歪みや変形したもの。	●籾数過多 ●登熟期の稲体の活力低下
乳白・心白	胚芽部分に白色不透明な部分がある。部分的にデンプン供給不足で発生	●登熟初期の高温・日照不足 ●籾数過多 ●登熟初期の稲体の活力低下
カメムシ 着色粒	カメムシによる吸汁被害 イネシンガレセンチュウによる被害粒	●畦畔雑草でのカメムシ類の増殖・適期防除の未実施 ●種子消毒(イネシンガレセンチュウ)

